

令和 8 (2026) 年度  
 宝塚医療大学 保健医療学部 入学試験  
 総合型選抜宝物入試  
 学科講義型 後期日程  
 確認テスト  
 柔道整復学科【30分】

問題冊子は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 問題冊子の表紙、3 ページ上部に受験番号（7桁）と名前を記入してください。
- 2 問題冊子は全 4 ページ（問題は 2 ページ、解答欄は 3 ページ）です。  
不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて 3 ページの解答欄の所定の位置に記入してください。
- 4 問題用紙の余白等は利用して構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 5 試験終了後、問題冊子を回収します。持ち帰らないでください。

受験番号						

名 前	
-----	--

【注意】 解答は3ページの解答欄の所定の場所に記入しなさい。

問1 次の各文が正しい場合は○，誤っている場合は×を，解答欄に記入しなさい。

- ① 重心とは質量の中心である。
- ② 人体における重心は，骨盤内で仙骨のやや後方である。
- ③ 小児は成人よりも重心が低い。
- ④ 人体における重心線の指標の一つとして，肩峰がある。
- ⑤ 重心が高いほど安定性はよい。
- ⑥ 支持規定面は広いほど安定性はよい。
- ⑦ 物体の重量は重いほど安定性はよい。
- ⑧ 摩擦係数は大きい方が安定性は悪い。
- ⑨ 立位保持に必要な筋を抗重力筋という。
- ⑩ 抗重力筋の一つに下腿三頭筋がある。

問2 下の文章の空欄に当てはまる語句を【選択肢】の中から選び，解答欄に記入しなさい。

- ・身体は足関節を支点として（ ① ）を行う。（ ② ）では頭部，重心はわずかであるがたえず動揺している。
- ・成人の重心動揺の平均速度は（ ③ ） $-0.9\text{cm/sec}$  である。
- ・重心動揺面積は（ ④ ）歳代で最小となり，（ ⑤ ）歳以上で著しく大きくなる。
- ・（ ⑥ ）により重心動揺が増大し重心の（ ⑦ ）移動がおこる。これは，（ ⑧ ）からの立ち直り反射が欠除するためである。
- ・（ ⑨ ）制御の筋活動は，はじめ（ ⑩ ）の遠位部に起こり，体幹近位部へ波及する。

【選択肢】

立位，座位，臥位， 10，20，30，60，70，80， 0.5，0.6，0.7  
上肢，下肢， 前方，後方，側方， 姿勢，バランス， 開眼，閉眼  
頭，目，首， 振り子運動， 逆振り子運動， 上下運動

問3 バランス能力に影響を与える要因をできる限り多く記しなさい。

問4 あなたが考える「良い姿勢」とはなにか，その理由とともに記しなさい。

受験番号						名 前	

(模範) 解答

問1

①	②	③	④	⑤
○	×	×	○	×
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
○	○	×	○	○

問2

①	②	③	④	⑤
逆振り子運動	立位	0.7	20	70
⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
閉眼	前方	目	姿勢	下肢

問3

バランス能力

筋機能 骨関節機能 運動制御機能 感覚機能 認知機能

課題

座位 立位 歩行 走行 階段昇降 ADL 動作

環境

照度 路面状況 靴の特性 障害物 道路の幅 人ごみ

問4

良い姿勢の判断基準

①力学的視点

重心線と支持基底面との関係

②生理学的視点

疲労しにくい姿勢

③心理学的視点

心理的に安定している

④作業能率的視点

作業能率がいい

⑤美学的視点

見て美しい

#### 出題のねらい

日常生活でしばしば用いられる「バランスを崩した」という言葉について、柔道整復師の視点から考察する 45 分間の講義を行いました。その後、講義の理解度を調べるため 30 分間の「確認テスト」を実施しました。ここでは、基本事項に関する正誤問題や空欄補充、バランス能力を司る諸要因など、講義内容を総合的に問いました。講義をよく聴けば、容易に解答できるものばかりです。